

地方独立行政法人明石市立市民病院の
再整備の検討にあたっての市の基本的な考え方

いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで

明石市では、「いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで」をキーワードに、すべての人が安全で、安心して暮らし続けられるまちを目指して、市民の声を大切にしながらまちづくりを進めています。

安全・安心を支える生活基盤を強化する

市民目線で、一人ひとりに寄り添った質の高い医療サービス

高度な総合的医療の充実

急性期医療を核とした総合的医療の提供

- ・急性期医療を中心とした診療体制の充実
- ・高齢化に伴う併存疾患（認知症等を含む）をもつ急性期患者への対応

救急医療の充実

- ・高齢者の増加に伴う救急受け入れ体制の充実
- ・小児救急受け入れ体制の充実
（こどもを核としたまちづくりのさらなる推進）
- ・休日夜間の医療体制の充実（小児科・耳鼻科など）

災害や新興感染症の発生に備えた体制整備

- ・災害発生時に迅速対応が可能な体制の確立
- ・新興および再興感染症への迅速かつ柔軟な対応

行政との協働による医療的施策の推進 ～誰もが安心して暮らせるまちづくり～

- ・医療的ケア児や難病疾患患者への対応
- ・病児保育や産後ケア事業の充実
- ・認知症疾患患者への対応（認知症診断助成事業等）
- ・要配慮者にも対応した予防医療の推進

地域とともに推進する 医療の提供

地域の信頼にこたえる 中核的病院としての役割

- ・地域に信頼される質の高い医療の提供
- ・地域の医療機関のバックアップ体制の強化

地域共生社会の実現 （すべての人に向けた支援をサポート）

- ・医療、介護、福祉、行政との連携を強化し、地域包括ケアシステムの牽引
- ・地域の医療機関との機能分化と連携強化による地域完結型医療体制の構築

地域医療支援病院としての役割強化

- ・地域医療の質の向上への取り組み
（地域の医療従事者への研修や医療機器の共同利用など）
- ・地域との積極的な交流やつながりの強化

活力あふれる組織

安定した財政基盤

持続可能な医療提供体制の構築